

平成23年設立事業年度

事業報告

自 平成23年12月1日
至 平成24年3月31日

はじめに

京都染織文化協会は、平成20年12月に施行された国の公益法人制度改革に伴い、去る平成23年11月25日に京都府の認定を受けて、12月1日付けで旧法人の解散並びに公益社団法人の登記を完了し、『公益社団法人 京都染織文化協会』として新たな一步を歩み始めることになりました。公益移行手続きにおきましては、会員各位には多大なご協力をいただきましたことをここに改めて御礼申し上げるとともに、今後とも引き続きご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

当協会では所蔵する染織資料をもとに、さまざまな公益事業に取り組み、一般の人々に広く伝えていくことで日本の染織文化の啓発と染織技術の継承をはかることを目的としております。一般の人々に染織文化とその技術を知ってもらうことは、我々の生業である染織業への理解と関心を深めることにも繋がり、二次的にはありませんが、会員各位をはじめとする染織業全体のイメージアップにも結び付くことと確信しております。

平成23年は3月に発生した東日本大震災や原発事故、世界的な不況による為替変動や円高等により日本全体に危機的ムードが立ち込めた一年でした。人々の意識は物質社会から精神社会へと価値観を変え、昨今従来の過剰消費の生活からモノをムダにしない日本の伝統的な暮らしぶりを見直す動きが強まっています。人々の意識が変わった今こそ、染織文化とその技術の素晴らしさを伝えることで、伝統回帰の精神を呼び起こすきっかけとなることを願ってやみません。

平成 23 年設立事業年度 事業報告
(2011.12~2012.3)

1. 会員の加入及び退会

	期首	期中		期末
		加入	退会	
会員数	61	0	1	60

退会商社：阪本商事㈱

2. 会務

■第63期通常総会

平成 23 年 5 月 27 日	京都ホテル オークラ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 22 年度事業報告承認の件 2. 平成 22 年度決算報告並びに剰余金処分(案)承認の件 3. 平成 23 年度事業計画(案)承認の件 4. 平成 23 年度収支予算(案)承認の件 5. その他
---------------------	---------------	---

■臨時総会

平成 24 年 2 月 6 日	京都産業会館 5F 織商会議室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 23 年最終事業年度事業報告 (2011.4~2011.11) の件 2. 平成 23 年最終事業年度決算報告 (2011.4~2011.11) の件 3. 平成 23 年設立事業年度事業計画 (2011.12~2012.3) の件 4. 平成 23 年設立事業年度事業予算 (2011.12~2012.3) の件 5. その他
--------------------	--------------------	--

■役員会

平成 24 年 3 月 23 日	からすま京都 ホテル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 24 年度事業計画 (案) の件 2. 平成 24 年収支予算 (案) の件 3. その他
---------------------	---------------	---

3. 実施事業

■公益事業

(1) 染織文化資源の保全と啓発事業

基本財産に位置付ける当協会所蔵の「染織祭衣装」と「全国染織産地合同制作布地」を保全するとともに、所蔵資料にみる染織技術の公開や資料そのものの一般公開により一般社会に伝える知識普及啓発を目的とし、下記事業に取り組んだ。

* 「染織祭」の詳細調査並びに公開

時代衣装制作の背景となった昭和6～15年に執り行われた染織祭を詳しく調査し、インターネット上で展開するフリー百科事典『ウィキペディア』に記載する目的で北野裕子氏（龍谷大学非常勤講師）に調査を依頼した。（継続中）

また、当協会が所蔵する昭和8年の染織祭ビデオを動画データに変換し、動画共有サービス『ユーチューブ』で公開した。



* 染織技術アーカイブの作成並びに公開

所蔵資料に使われた染織技術の記録と解説を行い、その内容を当協会ウェブサイト上で染織技術アーカイブとして纏めて公開する目的で、北川満哉氏（学芸員）に調査、解説を依頼し、今年度は江戸時代衣装43領について公開した。



(公開内容)

染織衣装 江戸時代衣装 43 領

公開技術 「織る」……縮緬／綸子／唐織／緋／紬

「染める」…絞染／鹿の子絞り（匹田鹿の子）／杳目絞り／友禅染（京友禅）／友禅染（加賀友禅）／素描友禅／型小紋染／白上げ
／染匹田／型染／無地染／暈し染／曙染

「装飾」……金加工

「刺繍」……平繍／駒繍（金・銀駒繍）／まつい繍／刺し繍／相良繍／鎖
繍／芥子繍／手綱紐繍

(2) 染織技術等継承事業

日本の染織技術を次代に継承していくために、染織に馴染みの薄い人たちにあらゆる方法でもって伝えることで認知と理解を深め、将来携わる人々を増やす目的で下記事業に取り組んだ。

* 染織文化セミナー「華麗なる京都の染織文化—染織祭と時代衣装—」の開催

日 時 平成 24 年 3 月 23 日（金） 13:30～15:30

会 場 からすま京都ホテル 2F「双舞の間」

講 師 小山 弓弦葉 氏（東京国立博物館 主任研究員）

内 容 当協会所蔵の染織衣装より各時代から 1 領ずつ合計 8 領の衣装現物を披露し、それぞれについて染織技術の解説を行った。

広 報 （会員・関係団体・美術館等）当委員会より案内送付

（一般）3/8 京都新聞夕刊、3/11-12 朝日新聞朝刊にそれぞれ広告掲載

受講者数 65 名

(3) 染織技術等継承に関わる助成事業

染織技術を継承し一般社会に啓発していくことを目的とし、当協会助成規定に基づき下記事業への助成を行った。

◎KPA 京都プリント振興協会主催「メイキング・ワークショップ 2012」への共催

会 期 平成 23 年 11 月 25 日（金）～27 日（日） 10:00～19:00※最終日 18:00

会 場 京都府京都文化博物館別館（中京区三条高倉）

制作テーマ	ECO／DECO ECO-PRINT PROMOTION PART2 光合成
内 容	染色業に携わる職人の創造力、技術力の向上を図るため、制作の機会、発表の場を提供した。当協会からは京都染織文化協会理事長賞の下付並びに後援金 50 万円を拠出した。
来場者数	3 日間合計 1,523 名

■その他

会員の加入メリットとして、京都市美術館友の会へ会員登録を行った。